



Baseball Finals

真剣勝負の2日間! 熱闘の決勝大会

第15回 中国ろうきん杯学童軟式野球選手権大会
2018年11月17日(土)・18日(日)の2日間、第15回 中国ろうきん杯学童軟式野球選手権大会「決勝大会」を開催しました。中国5県の606チームの中から予選を勝ち抜いた8チームが、「マツダZoom-Zoomスタジアム広島」をメイン会場に熱い戦いを繰り広げました。

中国ろうきん杯学童軟式野球選手権大会とは?
「毎日ひたむきにがんばる子どもたちの夢を応援したい」という思いから、2004年より(中国ろうきん)の社会貢献活動の一環として、中国地区軟式野球連盟と(中国ろうきん)の共催で開催し、2018年で第15回目を迎えました。

参加チーム数 選手数	2017年度		2018年度	
	チーム	選手	チーム	選手
鳥取県	114	2,280	106	2,120
島根県	100	2,000	96	1,920
岡山県	123	2,460	121	2,420
広島県	155	3,100	155	3,100
山口県	129	2,580	128	2,560
合計	621	12,420	606	12,120

2日目 手に汗握る大接戦の準決勝戦・初優勝×リベンジに燃える決勝戦

2日目の18日(日)は準決勝戦と決勝戦の3試合が行われました。数々の試合を勝ち抜いてきた4チームの準決勝戦は大接戦。中でも会見スポーツ少年団と中島スポーツ少年団の試合は時間内に決着がつかず、最終回はタイブレーク方式での延長戦へ。白熱した試合の結果、中島スポーツ少年団が制し、決勝へコマを進めました。

決勝戦は、中島スポーツ少年団と波根スポーツ少年団の対決。序盤に波根スポーツ少年団の打線が爆発し、大量7点のリードを奪います。中島スポーツ少年団も勝利を信じて最後まであきらめずに声を上げ戦いましたが、ゲームセット。優勝チームが決まりました。



準決勝・決勝と両チーム気の抜けない展開が続きます。優勝を目前にし、気合の入る選手たちの全力プレーがドラマを生みます。

1日目 野球ができる喜びや周りのサポートに感謝! 練習の成果を十分に発揮してほしい

初日の17日(土)、爽やかな秋晴れの中、「マツダZoom-Zoomスタジアム広島」で決勝大会が幕を開けました。開会式では、本大会を支える方々から励ましの言葉をもらい、広島県代表の中島スポーツ少年団の主将が元気よく選手宣誓を務めました。初日は準々決勝の全4試合を実施。この球場でプレーすることを目標に頑張ってきた選手たちは、日頃の練習の成果を存分に発揮し、毎回、白熱した試合展開となりました。



本大会を目標にしてきた選手たちは、悔いのない試合をしようと一球一球、全力で臨みます。大人顔負けのプレーをする選手も。

準優勝

中島スポーツ少年団

どんな展開でも最後まであきらめない姿勢が準決勝の接戦を制する形となりました。優勝をめざして挑んだ大会でしたが、惜しくも届かず大健闘の準優勝。

優勝

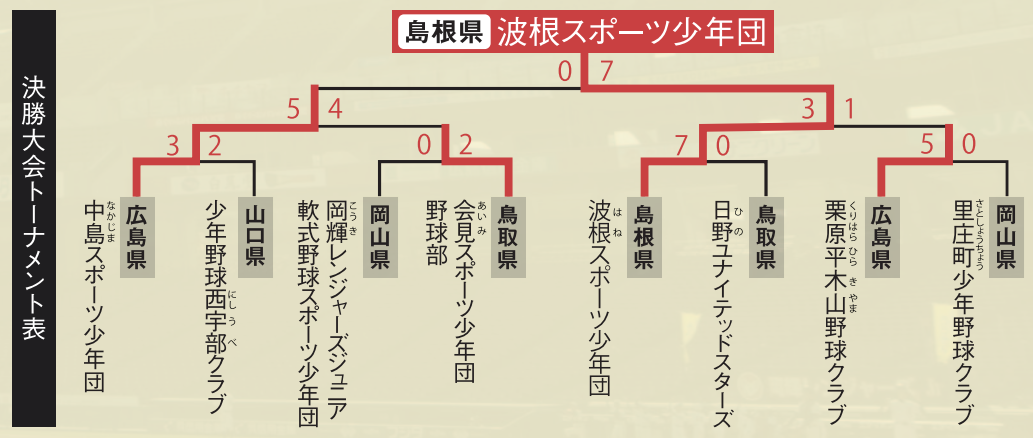
波根スポーツ少年団

3年連続で決勝大会に出場。惜しくも決勝で敗れ、リベンジを誓った大会から2年。今年こそは!と、一戦必勝を胸に、3度目の正直で念願の中国一に! 準優勝時のメンバーが多く残っており、喜びはひとしお。

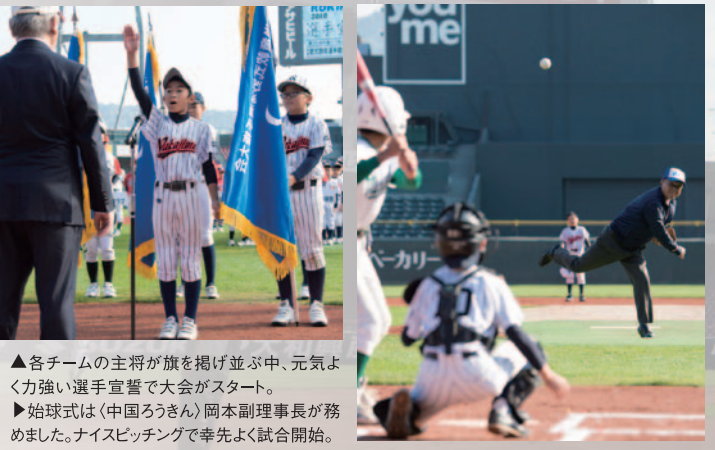
📷 グラウンド外に“映え”スポット出沒!?

みんなで写真を撮り合いっこしてたよ~!

今決勝大会からお目見えた、インスタグラム風フレーム。親子で記念に楽しんでいただけたようです。



波根スポーツ少年団主将



▲各チームの主将が旗を掲げ並び、元気よく力強い選手宣誓で大会がスタート。
▶始球式は(中国ろうきん)岡本副理事長が務めました。ナイスピッチングで幸先よく試合開始。